

## 学習プラン自動生成ツール | ご利用ガイド

### これは何をするアプリ？

受講生の「開始日・学習できる日数・1日の学習時間・得意/不得意」などを入力すると、**日ごとの学習スケジュール**を自動で作ります。

結果はその場で画面に表示され、Excel（.xlsx）やCSVで保存できます。インターネットやサーバは不要。パソコンのブラウザで開くだけで動きます。

---

### 使い方（3分で完了）

#### 1. ファイルを開く

受け取った「.html」ファイルをダブルクリックして、Chrome/Safari/Edgeなどで開きます。

#### 2. ①基本設定を入れる

- 開始日／学習したい日数
- 1日の学習時間（スライドで1～6時間）
- 週に学習できる日数（例：5日）
- 起床・就寝・学習開始の時刻
- 休みたい曜日（複数選択OK）
- OSやPCスペック（目安）、メモ（任意）

#### 3. ②技術スタックを選ぶ（分からなければ既定のままでOK）

- サーバ（例：Python/Django、Java/Spring など）
- フロント（例：HTML/CSS、JavaScript、Vue/React など）
- データベース（PostgreSQL など）
- インフラ（AWS、Docker など）
- その他（要件定義・Git/GitHub 等）
- **経験レベル**（未経験／基礎済／経験あり）と**目標タイプ**を選ぶと、配分が自動調整されます。

#### 4. ③追加制約（任意）

- 学習できない特定日（祝日・用事など）をカンマで入力
- 週あたりの上限時間（例：12時間）
- 復習%・演習%、配慮事項（短文）

#### 5. ④「最適化してプラン生成」を押す

下に**日別の計画表**が出ます（開始・終了時刻、トピック、時間数、学習メモ）。

## 6. 必要なら保存

- Excel (.xlsx) 出力 / CSV 出力ボタンでダウンロード
- 上部の「設定を JSON 保存」で、入力内容だけを保存 → 「JSON 読込」で再利用できます。

---

## 画面の見方

- ・ 日付 / 開始時間 / 終了時間 / トピック / 学習時間 (h) / メモ / リソースを表示します。
- ・ 経験レベルや学習スタイル、学習媒体の選択に応じて、\*\*学習メモ (細目)\*\* が変わります (例: 本中心なら「章末問題 → ノート化」、動画中心なら「視聴 → 写経 → 小タスク」など)。
- ・ 入力した「学習日数」は学習した日だけを数えます。休みの曜日や不可日、週の上限で学習できない日はカウントしません。そのため、カレンダー上の最終日が開始日から少し先に延びることがあります (仕様どおり・正常)。

---

## よくある質問

**Q. プランが出てこない / 空のままです。**

A. 「開始日」が空だと生成できません。まず開始日を入れてください。復習%と演習%の合計が100%を超えても生成できません。

**Q. 週の途中で詰まります。**

A. 「週あたりの上限時間」や「週の学習可能日数」を超えると、その週の残り日は自動でスキップします。翌週から再開します。

**Q. どのブラウザで動きますか？**

A. Chrome / Edge / Safari の最新を推奨。インターネット接続は不要です。

**Q. 個人情報 は 外 に 送 ら れ ま す か ？**

A. いいえ。アプリはローカル (手元の PC) だけで動きます。JSON/Excel/CSV も PC 内に保存されます。

---

## スタッフ向けポイント (運用のコツ)

- ・ 迷ったら既定の選択のままでも実用的なプランが出ます。
- ・ 経験レベルと目標タイプを変えると、基礎 → 応用 → 成果物までの配分が自動調整されます。
- ・ 途中で状況が変わったら、項目を直して再生成すれば OK (何度でも)。
- ・ 学習計画は Excel 出力してコーチングの面談資料に使うと便利です。

---

### トラブル時の最終チェック

1. 開始日が入っているか
  2. 復習%+演習% ≤ 100%か
  3. 学習日数が多すぎないか（週上限・休み設定で実質進まないケース）
  4. ブラウザを最新にして再読込
- 

### クイック手順（掲示用）

1. HTML ファイルを開く
2. ①基本 → ②技術 → ③制約の順に入力
3. 「最適化してプラン生成」
4. 必要に応じて「Excel(.xlsx)出力」または「CSV 出力」
5. 設定を再利用する場合は「設定を JSON 保存」